



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北のかなめ

vol.27
2014.6.30



三沢飛行場に飛来した米空軍グローバル・ホーク

(写真: 米空軍三沢基地ホームページ)

ーグアムから三沢飛行場へー

特集 グローバル・ホーク一時展開

- ☑ 沖縄県の負担軽減 in みちのく
沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練
三沢飛行場における航空機の訓練移転
- ☑ 周辺地域との調和を図るための取組み
三沢市第一配水場通水式
- ☑ 守るを支える
松島救難隊 格納庫新設・運用開始
職員採用情報 (業務説明会、官庁訪問のご案内)
新着任幹部紹介、新規採用者紹介
- ☑ インフォメーション



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

防衛省東北防衛局広報委員会編集発行

特集



グローバル・ホーク一時展開 —グアムから三沢飛行場へ—

2013（平成25）年10月の日米「2+2」共同発表において、「2014年春から、グローバル・ホーク無人機のローテーションによる展開を開始する」旨記述されました。

現在、グアム島（米国）のアンダーセン米空軍基地を拠点に運用している米空軍グローバル・ホークの夏季における活動は、台風など悪天候の影響により制約を受けています。

三沢飛行場に一時展開することで、より安定した運用が確保され、米軍の情報収集能力が一層向上し、これによりアジア太平洋地域における米軍の抑止力の維持・向上につながり、我が国の安全並びに地域の平和及び安全の維持に寄与することになります。

グローバル・ホーク2機が通常毎年5月頃から10月頃までの間、展開される予定で、運用のためのパイロット、整備士等約40人程度の人員が三沢飛行場に一時展開し、必要な機材が一時的に配置されます。

グローバル・ホーク2機は、本年5月24日及び28日にそれぞれ三沢飛行場へ飛来し、30日にメディアへ公開されました。



グローバル・ホークの概要

情報収集、警戒監視、偵察を任務とする高高度滞空型無人偵察機です。その特徴は、画像等の情報収集を行い、攻撃能力は有しておらず、高度5万フィート（約1万5000メートル）以上を航行し、無線通信及び衛星通信により地上から操縦することです。

これまでに、イラク及びアフガニスタンにおける作戦、東日本大震災におけるトモダチ作戦、ハイチにおける人道支援などの任務等に従事しています。

- 全幅：39・9メートル
- 全長：14・5メートル
- 全高：4・7メートル

安全な運用のために

グローバル・ホークは、無人機ですが、有人の航空機と同じく管制の指示に従って航行する機能等を備え、また既に米国、欧州等を始めとする他の国、地域においても安全に運用されており、我が国における実際の運用に際しても、米軍は、我が国の管制の指示に従って運用を行います。

また、原子力関連施設の上空を回避する飛行経路の設定や民間航空機への影響を最小限とするなど必要な調整が行われてきています。

※詳しくは、東北防衛局のホームページに掲載されています。
<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/globalhawk/>

(写真：米空軍三沢基地ホームページ)

☑ 周辺地域との調和を図るための取り組み



完成した三沢市第一配水場

青森県三沢市大字猫又にある三沢市第一配水場で4月14日、三沢市長、東北防衛局長を含む関係者が出席し、通水式が行われました。

これまで第一配水場は、三沢市全体の約6割の水量を供給しており、水源である地下水の低下による取水量の減少や給水量の増加に対処するために建設された施設でした。

このような市民の生活を支える重要な基幹施設ですが、施設

災害に強い水道づくり 三沢市 第一配水場通水式

の老朽化が著しく維持管理が困難になってきたことなどから、「地震や水害など、多くの災害が発生し、水道のライフラインとしての重要性はますます高まり、水の持続的な供給確保に向け、施設の耐震化等、災害に強い水道づくりが急務」として安定的に給水できるよう防衛省の民生安定施設助成事業により施設整備に当たってきました。

同事業は、平成18年度に実施設計、19年度に用地買収、20年度に配水管や導水管工事の一部、21年度から25年度までに配水場本体や場内整備工事など、8年かけて整備され、東北防衛局では、総事業費約28億円のうち、約17億円を補助しました。

通水式で、種市一正三沢市長は、「安心で安定した給水サービスの体制と、地震や事故対応を含めた総合的な危機管理体制が確立されるものとなり、住民の生活及び福祉の向上が図られるものと大いに期待しているところであります。」と述べられました。



通水スイッチを入れる関係者

☑ 守るを支える

東日本大震災で被災した航空自衛隊松島基地（宮城県）で、松島救難隊格納庫新設工事、ブルーインパルス格納庫改修工事が相次いで平成26年3月に完成し、運用を開始しました。

救難隊格納庫は、災害時に捜索などにあたる救難捜索機UH-125Aや、救難ヘリコプターUH-60Jの格納庫であり、完成した格納庫は、鉄骨造平屋建て約3100㎡で、これまでの地盤から津波対策として約4・5m盛土した高台の上に建てられ、内部には航空機を洗浄する洗機システムを備えています。

27日に行われた落成式で、松島救難隊長の西村修二等空佐は、「単なる格納庫の復旧というだけでなく、東日本大震災クラスの津波が来た状況下においても、救難機を流されることなく、救難機の翼を使って任務を遂行できるようにしたい。極めて大きな意義のある復旧の第一歩となった。」と式辞を述べました。

松島基地に救難の「かなめ」 松島救難隊 格納庫新設・運用開始

また、松島基地司令の有馬龍也空将補はホームページで、「松島基地の航空救難態勢は一層磐石なものとなりました。」とコメントしました。

松島救難隊は、東日本大震災において救難捜索機や救難ヘリコプターといった「翼」を失いながらも「That others may live」（他の人を生かすために・かけがえない命を救うために）の救難精神を失わず、震災当初は、できる限りの活動としてポートによる救助活動を行いました。

これからは、新たに完成した格納庫から「That others may live」の救難精神を持った隊員が「翼」に乗り込み任務に飛び立ちます。



完成した格納庫前に駐機する松島救難隊の「翼」

(写真：松島救難隊)



米海兵隊155ミリ榴弾砲

沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた155ミリ榴弾砲による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練については、沖縄県の負担軽減を図る観点などから、本土の5カ所の演習場の関係自治体から理解を得て平成9年度から実施しています。

東北地方では、宮城県に所在する王城寺原演習場において、これまで12回実施してきました。東北防衛局は、訓練の安全な実施、地元への安全、安心の確保、不安の解消のため、現地連絡本部を演習場

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練

内に設置し、米軍への支援や関係自治体への情報提供などを行っています。

平成26年度は、5月30日に沖縄から訓練部隊が宮城県入りし、155ミリ榴弾砲等による実弾射撃が6月5日から11日までの間、実施されました。訓練終了後は、地域への貢献や交流活動の一環として、奉仕活動や交流会を行い、日米の交流を深めました。

☑ 沖縄県の負担軽減 in みちのく

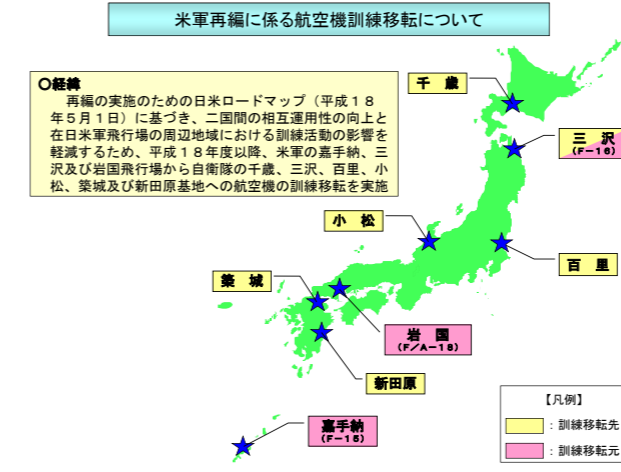
三沢基地における航空機の訓練移転の実施は、日米間の相互運用性を向上させるとともに、訓練活動に関する地元の負担を軽減することを目的とした米軍再編の一部です。

「再編実施のための日米のロードマップ」（平成18年5月）に基づき、米軍の3飛行場の航空機が、航空自衛隊の6基地において訓練移転を実施しています。

平成23年1月には、日米合同委員会合意において、GRAM等を使用した航空機訓練移転が拡充されました。

また、地元関係自治体の理解を得て、平成26年3月の日米合同委員会合意においては、航空自衛隊三沢基地又は千歳基地へ飛来して行われる訓練移転において、三沢対地射撃場（青森県）を使用した空対地射撃訓練が追加されました。この訓練は、沖縄県の嘉手納飛行場へ飛来して鳥島等で実施されていた訓練の一部を本土へ移転するもの

三沢基地における航空機の訓練移転



米軍再編に係る航空機訓練移転について

再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月1日）に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

で、沖縄の負担軽減に繋がっています。

米軍三沢飛行場からの航空機の訓練移転は、現在まで11回実施され、空自三沢基地への訓練移転は、計6回実施されています。

平成26年6月には、岩国飛行場から三沢基地への訓練移転が実施されました。

東北防衛局では、円滑な航空機の訓練移転の実施のために、訓練期間中、現地連絡本部を設置し、関係機関等への情報提供、騒音測定、米軍への支援や事件・事故への対応等を行いました。

新着任幹部









4月1日付けで企画部長を拝命しました平松です。東北防衛局の勤務は約1年半ぶり、2回目となります。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災発生当時、この仙台の地で惨状を目の当たりにしてから3年が経過し、再び仙台の地で勤務する機会を得た今、復旧・復興が着実に進んでいると感じております。

復旧・復興にはまだまだ時間が掛かるかとは思いますが、震災を経験した者として、これまで以上に東北が元気になる輝くことを願っております。

また、東北防衛局管内には、重要な自衛隊施設や米軍施設が数多くあります。これらの防衛施設については、これまでに関係地方公共団体や地域の方々の御理解・御協力のもと安定的な使用や円滑な運用が図られており、今後とも、防衛施設の安定使用のため皆様方より一層の信頼関係を築き上げてまいりたいと考えております。

新規採用者

 <p>岩瀨 亮太 調達部土木課 仕事を覚えるために積極的な行動に心がけ、東北防衛局の一員としていち早く働けるよう頑張りたいと思います。</p>	 <p>角 卓哉 調達部設備課 分からないことも多く、迷惑をかけることも多いと思いますが、健康に留意しつつ、早く仕事を覚えていきたいと思っています。</p>
 <p>小川 祥生 調達部土木課 東北にも職場にもまだまだ慣れない日々ですが、早く一人前となって国民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。</p>	 <p>高橋 祐真 調達部設備課 日本を守る組織の一員であるという自覚を持ち、責任を持って職務に取組み、信頼できる職員となるよう成長していきます。</p>
 <p>佐藤 希美 調達部土木課 覚えることが多く、仕事に慣れるには時間が掛かりそうですが、早く業務を覚えたいと思います。</p>	 <p>奥山 寿史 三沢防衛事務所業務課 基地周辺の住民の方々と直接顔を合わせることを通して、住民の方々から信頼される職員を目指していきます！</p>

編集後記

新年度となり、「東北のかなめ」を編集する担当も新たになりました。約3ヵ月が経過しますが、掲載記事の選択、紙面の構成や配色を含めたレイアウトなど、頭を悩ませてばかりです。(担当者が紙面を作成しているんですよ！)

当局も仙台防衛施設局から東北防衛局となり、約5年が過ぎましたが、まだまだ地方公共団体や地域住民の皆様には『施設局』というイメージが根強く、『防衛局』と呼んでいただけないこともあり、PR不足を実感しているところです。そこで、PR強化のため、今回、「東北のかなめ」を配布している機関等にアンケートをお願いすることにしました。皆様に知っていただけるよう、これまで以上に工夫を凝らした紙面作りを力を入れていこうと思いますので、ご協力をお願いいたします。



防衛省 東北防衛局
宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15
Tel 022-297-8209
ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

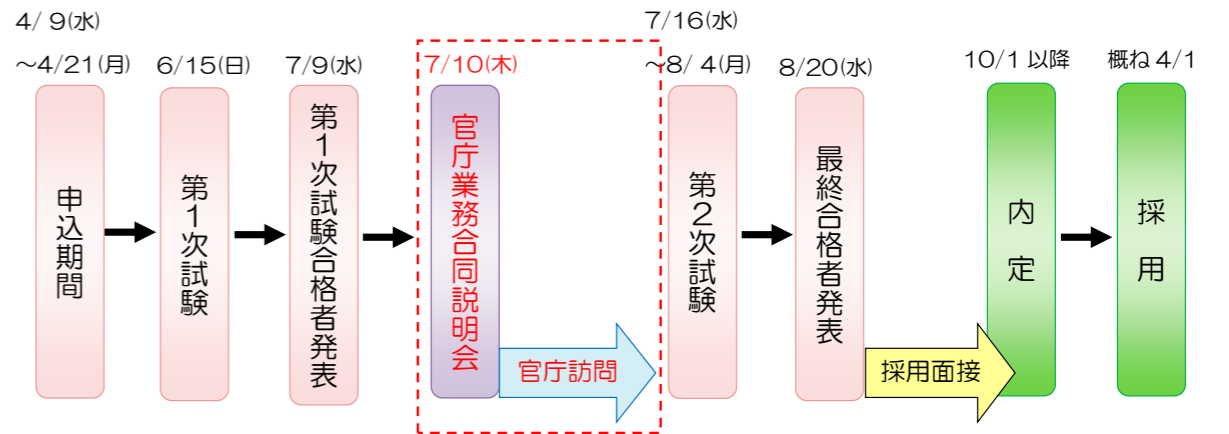


防衛省職員（事務官等）採用情報

—国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の合格者からの採用について—

防衛省では、人事院が行う国家公務員採用総合職試験（院卒者試験、大卒程度試験）及び国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）の合格者から**事務官等（事務職・技術職）**の採用を行っています。国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の合格者からの採用は以下の流れとなっています。

＜採用までの流れ＞



○官庁業務合同説明会（人事院主催）

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の第1次試験合格者を対象に下記の日時で官庁業務合同説明会が実施されます。東北地区に所在する各官庁（採用機関）がそれぞれの相談コーナーでみなさんの疑問・質問等に直接お答えします。また、官庁訪問の予約を取ることでもできます。各官庁の情報を入手することのできるまたとない機会ですので、官庁業務合同説明会にご参加いただき、防衛省のブースもお越しください。

日時：平成26年7月10日(木) 10時～16時（予定）
場所：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）



△昨年度官庁業務合同説明会（防衛省ブース）

○防衛省官庁訪問

官庁業務合同説明会（人事院主催）の翌日から防衛省の官庁訪問を陸上自衛隊、海上自衛隊及び東北防衛局が合同で開催します。防衛省の概要や各機関の具体的な業務内容をご説明し、みなさんの疑問・質問等に直接お答えします。防衛省のより詳しい情報や先輩職員の話を知ることができます。開催日時、申込方法等の詳細については、東北防衛局のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

日時：平成26年7月11日(金)～
場所：仙台第3合同庁舎（仙台市宮城野区五輪1-3-15）

官庁業務合同説明会、官庁訪問へのご参加をお待ちしております！

東北の主な自衛隊広報行事

自衛隊（東北管内）が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
7月	空 7月13日(日)	車力分屯基地34周年記念開庁祭	車力分屯基地	車力分屯基地総務班 0173-56-2531(202)
	海 7月19日(土)	八戸航空基地サマーフェスタ (少年サッカー大会)	八戸航空基地	第2航空群司令部広報室 0178-28-1111(2331)
	海 7月19日(土) ~21日(月)	艦艇広報in八戸 (護衛艦「ゆうだち」)	八太郎4号埠頭P岸壁	自衛隊青森地方協力本部広報室 017-776-1594・1606
	空 7月24日(木)	夏休みちびっ子ヤング大会 ※事前申し込みが必要です!	三沢基地	第3航空団司令部監理部広報班 0176-53-4121(3313)
	陸 7月25日(金)	仙台駐屯地夏祭り	仙台駐屯地	仙台駐屯地司令職務室 022-231-1111(3861)
	陸 7月26日(土)	船岡駐屯地夏祭り (フェスティバルinしばた)	船岡駐屯地	船岡駐屯地司令職務室 0224-55-2301(208)
	陸 7月26日(土) ~27日(日)	親子キャンプ ※事前申し込みが必要です!	神町駐屯地	神町駐屯地広報室 0237-48-1151(5898)
8月	陸 8月1日(金)	神町駐屯地納涼祭	神町駐屯地	神町駐屯地広報室 0237-48-1151(5898)
	空 8月2日(土)	航空機体験搭乗(CH-47J) ※事前申し込みが必要です!	三沢基地	第3航空団司令部監理部広報班 0176-53-4121(3313)
	陸 8月5日(火)	八戸駐屯地納涼盆踊り	八戸駐屯地	八戸駐屯地司令職務室 0178-28-3111(2065)
	陸 8月7日(木)	霞目駐屯地納涼盆踊り	霞目駐屯地	霞目駐屯地広報室 022-286-3101(301)
	陸 8月9日(土)	西地区市民納涼盆踊り大会	福島駐屯地	福島駐屯地広報班 024-593-1212(204)
	陸 8月20日(水)	青森駐屯地納涼盆踊り	青森駐屯地	青森駐屯地司令職務室 017-781-0161(6370)
	空 8月23日(土)	三沢まつり (三沢国際サマーフェスティバル)	三沢市内路上	第3航空団司令部監理部広報班 0176-53-4121(3313)
	空 8月30日(土)	姫神ホールふれあいコンサート 航空自衛隊北部航空音楽隊演奏会	姫神ホール 盛岡市渋民文化会館	自衛隊岩手地方協力本部 019-623-3236
	空 8月31日(日)	花巻市音楽まつり	花巻市文化会館	自衛隊岩手地方協力本部 019-623-3236
	9月	空 9月7日(日)	三沢基地航空際	三沢基地
陸 9月13日(土)		平成26年度自衛隊創立記念日行事 (弘前市中パレード)	青森県弘前市	弘前駐屯地広報室 0172-87-2111(205)
海 9月20日(土)		大湊航空基地開隊記念基地一般開放	大湊航空基地隊	第25航空隊総務室広報 0175-24-1111(3406)
海 9月21日(日)		八戸航空基地祭	八戸航空基地	第2航空群司令部広報室 0178-28-1111(2331)
陸 9月21日(日)		秋田駐屯地創立62周年記念行事	秋田駐屯地	秋田駐屯地広報室 018-845-0125(361)
陸 9月27日(土)		東北方面隊音楽フェスティバル	東京エレクトロンホール宮城	東北方面総監部広報室 022-231-1111(2373)
陸 9月28日(日)		東北方面隊創隊54周年記念行事	仙台駐屯地	東北方面総監部広報室 022-231-1111(2373)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。